

令和元年度

第5回公民館運営審議会議事録

令和2年1月10日開催

令和2年1月23日承認

浦安市高洲公民館

○出席委員

委員長	越村康英
副委員長	勝田秀樹
委員	渡邊聡子
	永井恵美子
	大川幸子
	田中恭子
	軽部節子
	後条昌秀
	杉田徹彦
	西村正規
	松浦響子
	林

○説明者

生涯学習部長	八田吉浩
生涯学習部次長	高梨晶子
中央公民館長	川口雅之
堀江公民館長	三浦正志
当代島公民館長	河野純栄
富岡公民館長	堀木和久
美浜公民館長	本多浩美
日の出公民館長	岡本修司
高洲公民館長	小林順子
生涯学習課主幹	斉藤恭一

○事務局

高洲公民館	宮崎英勝
-------	------

令和元年度 第5回 公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和2年1月10日（金）午後3時～5時
- 2 開催場所 高洲公民館 第3・第4会議室
- 3 出席者
（委員）
越村委員長、勝田副委員長、渡邊委員、永井委員、大川委員、田中委員、軽部委員、後条委員、杉田委員、西村委員、松浦委員、林委員
（事務局）
生涯学習部長、生涯学習部次長、中央公民館長、堀江公民館長、当代島公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、日の出公民館長、高洲公民館長、生涯学習課主幹、高洲公民館副主査
- 4 傍聴者 1名
- 5 議 題
 - I) 協議
 1. 報告事項
 - (1) 公民館主催事業（11月～12月）開催結果報告
 - (2) 美浜公民館大規模改修について
 - (3) （仮称）浦安市子ども図書館基本計画（案）について
 - (4) 「公民館利用ガイドブック」について
 - II) その他
 1. 次回会議の予定
- 6 議事概要及び会議経過
 - I) 開会
 1. 委員長挨拶
 2. 教育委員会挨拶
 - II) 協議
 1. 報告事項
 - (1) 公民館主催事業（11月～12月）開催結果報告
11月～12月に実施した主催事業の結果について各館長より説明を行った。
（委 員） 資料が見やすく、よい。今後も続けていただきたい。

- (委 員) 参加人数が定員を上回っている講座が多いが、当日の参加者も受け入れているのか
- (事務局) 数回にわたる講座の場合、延べ人数を記載してあります。
- (委 員) 中学1年生を対象としたのはなぜか
- (事務局) 高洲中学校からの依頼があったもので、いじめ等につながることから小学校など低年齢が望ましいと考えている。
- (委 員) 高洲中学校だけではもったいない事業なので、各公民館でもエリアの中学校で実施するのも一つである。
また、子どもだけでなく認知症の予防に関する講座も希望する。
- (委 員) 当代島公民館の人権講座は、参加人数こそ少なかったが大切なことなのでぜひ続けてほしい。
- (委 員) 同感である。ネーミング等の工夫も必要であるが、たとえ参加者が少なくても、そこで学んだ方が核となって広がることもあるので粘り強く続けてほしい。
- (委 員) 中央公民館のスマートフォン講座は、講師も熱心に教えてくださり本当に貴重で有意義な講座であったと思う。
当代島公民館の人権講座のような自閉症の子どもへの対応についても、機会があったら当事者の話を聞ける取り組みがあったらいいと思う。
富岡公民館のミドルシニアの釣り入門講座で、女性の参加はあるのか。
船に酔った方は、釣った魚は持ち帰るのか。
- (事務局) 女性は、結構多く1艘当たり25名位のうち半分くらいの船もあった。船酔いされた方も数名いた。釣った魚は、下船後調理法を指導していただき、お持ち帰りいただいた。
日の出公民館の男性のための片づけ講座は、個人的にもぜひ続けてほしい。
- (委 員) 中央公民館のプログラミング講座は、パソコンの数で人数が制限されるのか。
- (事務局) 小学生対象であるために飽きさせない程度の人数と、タブレットの数によるもの。
- (委 員) 他の公民館にタブレットを回すことはできないか
- (事務局) タブレットは公民館所有でなく、講師に持参していただいたもの。
- (委 員) 人権講座というくくりでなく、何かの講座の中に人権の内容を盛り込むといいのではないか。
- (委 員) きぼう青年学級に該当するような人数を把握されているか
- (事務局) 担当課では把握していると思うが、知的障がいをお持ちで就労されている方という数はわからないと思う。
- (委 員) すべての公民館でフォローする体制をとらないと人数が増やせないのではないかと考えている。

- (事務局) 全市的に募集をかけてはいるが、手をあげられる方が30名ほどである。体験会等も開いているがほぼゼロである。本人が手をあげてくれないとわからないため、この人数で行っているのが実情である。
- (委員) 福祉作業所等に情報提供はされているのか。
- (事務局) 関係機関の集まりなど機会があるごとに声掛け等を行っている。
- (委員) 各館ともに課題を提示していただいているので、検討を深めながらより良い講座を目指していただけたらと思う。

(2) 美浜公民館大規模改修について

美浜公民館の大規模改修の概要について館長より説明を行った。

- (委員) 調理実習室内の器具の整理方法が、公民館によってバラバラなため使いにくい。使い勝手の良い形にしてほしい。

(3) (仮称) 浦安市子ども図書館基本計画(案)について

(仮称) 浦安市子ども図書館基本計画(案)の経緯や概要について生涯学習課主幹より説明を行った。

- (委員) 話し声を気にしない賑わいのある新しいタイプの図書館にニーズはあるのか
- (事務局) 子どもを連れて行くのに遠慮したり、話し声が気になるといったアンケート結果から、図書館の環境のありかたがポイントとなる。子育て世代が利用しやすいように、声を出しても泣いても、ある程度は許容する新しい図書館が必要であると考えた。
- (委員) 2階の小学生ゾーンやヤングアダルトゾーンもお話ししながらでもいいという構想か。
- (事務局) 日の出分館を移設するゾーンのみその環境を切り離すように考えている。
- (委員) なぜ日の出地区なのか
- (事務局) 図書館単体のコンテンツで人を集めるのは難しいことから、駅に近いとか商業施設が周りにあるなど「ついで」の利用が見込まれる立地がいいだろうと判断した。
- (委員) 元町地区には案がでなかったか
- (事務局) 二千平方メートルといった敷地が必要だったこともあって現地を選んだ。
- (委員) 中央図書館が改修されたが、そこに入ることはできなかったのか
- (事務局) 中央図書館は増築するものではなかったため
- (委員) ベビーカーや図書館のない地域から来る方にも配慮をお願いしたい。
- (委員) 地域包括支援センターが入るとのことだが、包括支援センター職員と公民館職員が連携協働しながらどうやって高齢者の地域福祉を進めていくか公民館側として検討を進めていくことが大事だと思う。

(4) 公民館利用ガイドブックについて

公民館利用ガイドブックの改正について堀江公民館長より説明を行った。

(委員) 講師が名簿に記載されているのはだめなのか

(事務局) 講師とはサークルの会員が会費を集めて依頼する方であり、会員名簿に記載することはできません。サークルが私塾化しないために相互に確認するために記載したものです。

(委員) 「これはできません」といった否定的な文面が前面に出ている。逆に「公民館ではこういったことができます」といったポジティブな部分をアピールしてもいいと思う。

Ⅲ) その他

1. 次回会議の予定

次回、第6回公民館運営審議会は、令和2年3月13日(金)午後3時から、高洲公民館で開催することを確認した。

以上で令和元年度第5回浦安市公民館運営審議会は閉会した。